

少にして学べば



教育随想

岐阜県関ヶ原町長 西脇 康世 氏

関ヶ原町は、岐阜県の西端で関東と関西の境目に位置しています。徳川家康の東軍と石田三成の西軍が激突し、決戦が行われた所です。徳川家康の天下取りの場となった縁から、昭和五十八年に岡崎市とゆかりのまちの提携をしています。

古戦場の町には、毎年多くの歴史ファンが訪れています。特に大河ドラマで戦国時代が取り上げられると観光客が増えて賑わいます。ですから再来年の大河ドラマ「どうする家康」には大いに期待をしています。

今年の大河ドラマ「青天を衝け」も毎週楽しみに観ています。主人公の渋沢栄一という人物は次の一円札の顔にもなるということで興味をもっています。尊皇攘夷を目指した一百姓であった主人公は、一橋家の

家来になってやがて幕臣となり、維新後は新政府の役人となり、官を辞した後は日本資本主義の父と言われるような活躍をした人で、まさに波瀾万丈の人生を乗り越えた人物です。そんな彼の人生を支えたのは、幼い頃から学んだ論語にあるそうです。まさに「少にして学べば即ち壮にしてなすことあり・・・」です。

ところで、GIGAスクール構想に基づき、タブレットが全児童生徒に行き渡るようになりました。これからの時代には必要となり、大いに知識の幅を広げることにつながっていくと思います。子供たちには操作だけでなく、そこから得られる情報を活用できるようにすることを期待します。一方で、やはり読書を多くして欲しいと思います。人間が物事



を考え、伝えるのは言葉と文字によつてです。しっかりととした語学を身につけ、タブレットを使った新しいシステムにより高度な学問をして欲しいと願っています。

(にしわき やすよ)



令和3年9月1日
9月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
岐阜県関ヶ原町長
西脇 康世 氏
- この人に聞く…………… 2
獣医行動診療科認定医
ぎふ動物行動クリニック [ONE Life] 院長
奥田 順之 氏
- 羅針盤…………… 2
算数・数学科指導員
秀野 亜友
- ふれあい…………… 3
生平小学校
教諭 渡辺 修一郎
- 特集…………… 4
修学旅行 令和2年度のかたち
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
ニュートンのリンゴの木植樹(平成3年)
- この本を…………… 8



動物と人が幸せに暮らせる社会へ

獣医行動診療科認定医
ぎふ動物行動クリニック「ONE Life」院長
奥田 順之 氏

岐阜大学在学時、動物殺処分の問題解決を目指した学生団体「ドリームボックス」を立ち上げる。同様の目的で、二〇一一年にNPO法人「人と動物の共生センター」を設立。その後、ぎふ動物行動クリニック「ONE Life」を開設。日本で十一名しかいない獣医行動診療科認定医として、年間百例以上、動物の問題行動の解決支援を行う。動物と人が共に幸せに暮らせる社会を目指して日々、動物たちと向き合っている。

—動物の命に関わる仕事に就かれたきっかけを教えてください—

大学三年生の時、動物保護施設のボランティアに参加しました。そこでは、倒産した動物テーマパークにいた

約七百頭の犬が、がりがりにやせた状態で餓死したり、食べ物を探し回った末に共食いしたりしていました。その悲惨さはメディアにも取り上げられませんでした。当時、人知れず殺処分されていた動物は日本に約四十万頭もいました。存在すら気づかれない多くの命がある状況から、動物の命とは何なのだろうと憤りと虚しさを感じました。この問題に多くの獣医学生が向き合い、命の在り方を見つめるべきだと考えました。そこで、保健所の一般譲渡推進活動などをポスターやイベントで積極的に行う「ドリームボックス」を立ち上げました。

—その後、動物について何を思い、どのようなことに取り組みましたか—

殺処分を減らすことはもちろん大切ですが、最も重要なのは、動物一頭一頭の幸せが大切だという「動物福祉」の考えです。この考えには、動物がどのような思いをもっているかを知る「動物行動学」が必要となります。そこで、動物行動学のプロであり、動物の精神科医と言われる獣医行動診療科認定医となり、動物の心のケアを行い、一頭一頭の幸せの実現に向け努力したいと思っています。

問題行動のある犬だから飼えないという飼い主が多くいます。しかし、飼い主が関わり方を変えることで、動物の行動は変わることが多いのです。動物の気持ちをはかかってあげられれば、うまく関わる事ができます。人と動物の関係がよくなり、結果的に殺処分

も減ると考えています。

—現在、「ONE Life」で行っている活動について教えてください—

日々の生活などで、困っている飼い主への飼育セミナーや助言などを行っています。来られた方には、「人間が変わらないと動物は変わらない」と伝えていきます。これは、教育の世界と通じるかもしれません。人任せにするのではなく自分が変わりたいと思って行動することが動物たちの問題行動の解決に最も大切なことだと考えています。また、オンライン診療も行っています。現在、獣医行動診療科認定医は少ないため、全国から依頼があり、少しでも多くの飼い主と動物が幸せになれるように話を聞いて、助言しています。—これからのような活動をしていこうと思っていますか—

小中学生対象のセミナーを行っています。小さい頃の体験は、大人になっても忘れず、自分のアイデンティティとして残ると思います。だからこそ、今、動物福祉について考えてもらうことで、将来的に動物福祉の考えが広がっていくと思います。それが、動物と人が幸せに暮らせる社会へ近づく一歩だと信じています。



氏名 おくだ よりゆき
生年月日 昭和六〇年十二月十八日
出身校 羽根小学校
南中学校



生きて働く力を育くむ算数の授業

算数・数学科指導員

秀野 亜友

子供たちが将来、様々な場面での知識の問題にぶつかった時、今までの経験をもとに、解決方法を見つければ「生きて働く力」を、算数の授業を通して身に付けていきたいと考えている。

小学三年「わり算」では、あまりの処理の仕方を学ぶ。A小学校のB教諭は、タイヤ三十本から車を何台作ることができるかを考える授業を行った。車の模型を見せながら、問題文を一文ずつ提示していく。ただ、本時の一番大事な最後の一文はここでは提示せず、全体でわり算の式と商、あまりを求めることまで行った。子供たちの様子を見ていたB教諭は、ここで最後の一文「車は何台できるでしょう」と提示した。子供たちからは、「あれ、あまりが聞かれていない」「あまりはどうしたらいいのだろう」と、戸惑った様子が見られた。



小さな命を通して

生平小学校

教諭 渡辺 修一郎

三年生のAさんは、困っている友達に気づくと、担任に伝えにくる優しい子だ。だが、自分から話しかける相手は教師が中心で、休み時間は一人で本を読んだり、絵を描いたりして過ごすことが多く、友達との関わりは少ない。私は、Aさんに友達と関わることの楽しさ、よさ、大切さをたくさん感じてほしいと考えた。

三年生の理科「こん虫の育ち方」では、チョウを育てながらその成長過程を学ぶ。しかしAさんは極端に虫を怖がった。虫嫌いのAさんの学習をどのように進めようか考えた末、「アゲハを、AさんとBさんの二人で育てよう」と提案した。Bさんは昆虫をいつも楽しそうに触り、その様子を観察している。虫が苦手なAさんにとって、Bさんの存在は

大きな助けとなる。困ったときは、二人で協力して乗り越えなければならず、関わり合う場面も多くなると期待した。

ある日、Bさんが新しいミカンの葉を虫かごに入れるため、幼虫を動かそうとしていた。一人で頑張っていたが、なかなかできない。私は、関わりのチャンスと思い、Aさんに「お手伝いしてあげようか」と誘いの声をかけたが、「無理」と即答された。虫嫌いのAさんにしてみれば、当然だったかもしれない。しかし、Aさんは友達の様子を心配することが出来る優しい性格である。相手のことを考えればきつと行動は変わるだろうと信じ、しばらく見守った後、「でも、Bさん、とても困っているよ」と続けた。Aさんはおそろおそろ葉の上に幼虫を乗せ、移動させた。すると「ありがとう」とBさんが温かい声をかけた。その一言でAさんの表情がぱっと柔らかくなった。

その日を境に、AさんはBさんにリードされながら幼虫を観察するようになった。「あしではさんで食べているよ。かわいいね」と話もするようになった。しかし、虫かごの掃除をするのは、Bさんばかりで、Aさんはやるうとしなかった。二人で協力して育ててほしいと思っていたので、「今日はAさんも虫かごの掃

除をしたら」と声をかけた。Aさんが困っていると、「手袋があればできるかな」とBさんがそばに来た。Aさんはためらいながらも自分から手袋をし、ふんで汚れたガーゼや虫かごを掃除することができた。「できたね。えらいね、Aさん」と自分のことのように喜ぶBさんに、Aさんが笑顔で応えた。小さな命の世話を通して、二人の間に温かな関係が築かれていることを感じた。

Bさんからよく聞かれた「ありがとう」の言葉が、今ではAさんの口からも聞かれるようになってきている。休み時間に、「遊ぼう」とBさんを自分から誘うAさんの姿は、前よりも一回り頼もしくなった。



その時、B教諭は「どうやったら考えられそう」と子供と一緒に戸惑う様子を演じながら、子供が未知の問題にぶつかっていることを感じ取り、じっと待っていた。するとある子供が、ノートを振り返り始め、「前みたいに図をかけば考えられそう」とつぶやいた。B教諭は、すかさず「なるほど、前と同じように図にかいて考えれば解決できそうなのだね」と笑顔で価値付けた。子供たちは前時に図を使って問題を解いた経験を思い出し、同じように考えればいいことに気付いた。解決の見通しをもつことで、タイヤを○で表し、図をかいて考えることができた。そして、「車は七台できる」と正解にたどり着くことができた。

算数は系統性の強い教科である。新たな問題に出会っても、学んだことを使えば、たいいてい問題は解決できる。ただ、教師が「○○を使つて考えよう」と与えるのではなく、子供自身が学んだことを振り返り、何が使えるのか判断し、その姿を教師がきちんと価値付けることが大切である。こうした授業を繰り返すことで、子供が学びのつながりを意識し、自力解決する力につなげていきたい。

「生きて働く力」を身に付けていくために、日々の算数の授業の積み重ねが大きな力になっていくと考える。

修学旅行 令和2年度の

かたち



▲三重 志摩スペイン村



▲長野 松本城



▲静岡 三島スカイウォーク



▲滋賀 彦根城



▲和歌山 那智の滝

令和2年度の修学旅行は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、目的地や内容を変更するなど、新しいかたちで実施された。目的地は京都・奈良、東京が定番だったが、三重・滋賀、そして、静岡・長野・和歌山等、学校ごとに目的地が変更された。活動内容は、体験活動が増えた。ただ単に見学するだけではなく、自分の体を使ってやってみる。自ら触れ、匂いをかぎ、味わう。そうした体験活動を通して、自然の尊さ、歴史・文化の奥深さを自分のものにしていく。感染対策をきちんと講じ、海や山等で自然を満喫する子供たち。普段では体験できない活動を通して、子供たちの満面の笑顔を見ることができた。

子供たちは、修学旅行で、学校生活を共に過ごす仲間と最高の思い出をつくりたいと願い、保護者は、一生に一度の修学旅行を楽しんでほしいと願っている。教師は、このような願いを受け止め、子供たちのために考え、話し合い、アイデアを出し合った。そうすることで、どの学校においても最高の修学旅行を実施することができた。

令和2年度における修学旅行に関する各学校の取り組みは、これからのすべての教育活動に生かされるに違いない。

もくてき **ち**



●プログラミングフェスタ

七月二十七日、現職研修委員会学習情報部が岡崎竜城ライオンズクラブの後援を受け、「おかざきキッズ プログラミング・フェスタ2021」を、岡崎市総合学習センターにて開催した。市内小中学校五十五校から子供たちの参加があった。

開会式に続き、小ホールでは、岡崎市立羽根小学校の代表児童三名が、授業で取り組んできたプログラミング学習の発表を行った。また、様々な企業や団体の協力により、九つのプログラミング体験コーナーが設けられ、子供たちがプログラミングに取り組んだ。自走式小型ロボットmBotをプログラムして、障害物レースを行うコーナーでは、参加した小中学生が、ボランティアで参加した岡崎商業高等学校の生徒たちから、

プログラムの組み方を学んでレースを行った。

参加した子供や保護者からは「新しいロボットやアプリに触れられてとても楽しかった」「企業の方や岡崎商業高校の生徒さんがとても親切にわかりやすく説明してくださったので、もっとプログラミングを体験させたいと思いました」などの感想が寄せられた。自分の意図したことをコンピュータにどう伝えるか、楽しみながら考える様子が伝わってきた。

このイベントでは、学校と企業が連携した新たな学びの場を岡崎の子供たちに提供することができた。今後も子供たち一人一人のよさや可能性を引き出し、Society5.0を生きたる資質・能力を育む活動を継続実施したい。

【運営協力企業・団体】

- (株)アーテック (株)エルモ
- 教育産業(株) 電子システム(株)
- NECソリューションズ(株)
- ヨシノ印刷(株) ISA-OKI (岡崎市教育ネットワークヘルプデスク)
- 愛知県立岡崎商業高等学校
- 視聴覚ライブラリー



●表彰

◆第四十三回東海中学校総合体育大会

- ソフトボール 三位 城北中 (全国大会出場)
- バレーボール男子 三位 六ツ美中 (全国大会出場)
- ソフトテニス女子団体の部 三位 矢作中 (全国大会出場)

○剣道男子個人の部

- 二位 矢作中 重富 朝陽

○柔道

- ・男子六十六kg級 三位 南中 堂崎 義喜
- 陸上競技
- ・男子一〇〇mH 二位 竜海中 杉浦 颯志
- ・男子四〇〇m 二位 矢作北中 柴田 大和
- ・男子八〇〇m 八位 城北中 宮下 颯汰
- ・男子一五〇〇m 三位 南中 尾田 悠翼
- ・女子一〇〇mH 二位 矢作北中 大和 令奈
- ・女子二〇〇m 七位 南中 高塚 虹百
- ・女子八〇〇m 一位 矢作北中 内田 詩乃
- 八位 竜南中 副島 佑衣

- ・女子一五〇〇m 四位 矢作北中 秋竹 凜音
- 水泳
- ・男子五〇m自由形 三位 竜海中 河田 怜 (全国大会出場)
- ・男子一五〇〇m自由形 八位 城北中 加藤 元気
- ・四×一〇〇mメドレーリレー 五位 竜海中 三井 十輝・高橋 太那

◆第七十五回愛知県中学校総合体育大会

- ソフトボール 優勝 城北中
- バレーボール男子 優勝 六ツ美中
- 三位 竜南中
- ソフトテニス女子団体の部 二位 矢作中
- 剣道男子団体の部 二位 矢作中
- 柔道
- ・男子六十六kg級 二位 南中 堂崎 義喜
- 弓道
- ・女子個人の部 三位 額田中 菅沼 美音
- 陸上競技
- ・女子総合 優勝 矢作北中

- ・男子一〇〇mH
一位 竜海中 杉浦 颯志
(全国大会出場)
- ・男子四〇〇m
二位 矢作北中 柴田 大和
(全国大会出場)
- ・男子八〇〇m
二位 城北中 宮下 颯汰
(全国大会出場)
- ・男子一五〇〇m
一位 南中 尾田 悠翼
(全国大会出場)
- ・女子一〇〇mH
一位 矢作北中 大和 令奈
(全国大会出場)
- ・三位 南中 高塚 虹百
- ・女子八〇〇m
一位 矢作北中 内田 詩乃
(全国大会出場)
- ・一年女子八〇〇m
二位 矢作北中 犬塚 美桜
- ・女子一五〇〇m
三位 矢作北中 秋竹 凜音
- ◆**第二十八回愛知県中学校カヌー大会**
○男女総合
優勝 新香山中
- 男子総合
優勝 新香山中
- 女子総合
優勝 新香山中
- カナディアン男子一人乗りの部
一位 新香山中 若宮 駿士
二位 新香山中 平松 大輝
- カヤック女子一人乗りの部
一位 新香山中 成瀬あかり
二位 新香山中 栗田 萌衣
三位 新香山中 前田 芽依
- カナディアン男子二人乗りの部
一位 新香山中
近藤 翔也・平松 大輝
三位 新香山中
若宮 駿士・石川 照之
- カヤック男子二人乗りの部
一位 新香山中
河野 文晃・河野 賢晃
三位 新香山中
ベッリーノ石川琉羽
- カヤック女子二人乗りの部
一位 新香山中
成瀬あかり・前田 芽依
二位 新香山中
浅香 あい・浦垣 永愛
三位 新香山中
栗田 萌衣・平野 杏奈
- カヤック男子四人乗りの部
一位 新香山中
河野 文晃・河野 賢晃
ベッリーノ石川琉羽
塩谷 翼
- カヤック女子四人乗りの部
一位 新香山中
- ◆**とびうお杯第三十六回全国少年少女水泳競技大会**
○自由形五〇m A決勝
五位 緑丘小 船越 健
- 自由形一〇〇m A決勝
四位 緑丘小 船越 健
- バタフライ五〇m A決勝
五位 緑丘小 船越 健
- メドレーリレー四×五〇m A決勝
五位 緑丘小 船越 健(一泳者)
- ◆**二〇二一年度愛知県小学生バンドフェスティバル**
金賞(東海小学生バンドフェスティバル進出)
県教育委員会賞
朝日新聞社賞
竜美丘小
- ◆**第五十五回交通安全子ども自転車愛知県大会**
○団体の部
準優勝 竜美丘小
- ◆**第五十一回愛知県野生生物保護実績発表大会**「輝く未来のいきものサポーター」
愛知県知事賞 生平小
愛知県教育委員会賞 美合小
- ◆**第六十一回愛知県合唱コンクール**
○中学部門(同声合唱の部)
金賞 矢作北中
- 中学校小編成の部
金賞 竜海中
金賞 矢作中
○中学校小編成の部
金賞 矢作中
- ◆**第六十一回愛知県合唱コンクール**
○中学部門(同声合唱の部)
金賞 矢作北中



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

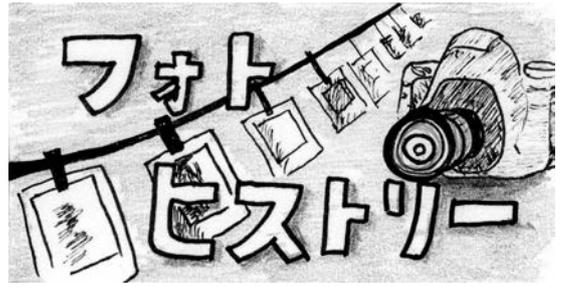
ニュートンのリンゴの木植樹 (平成3年)

写真提供：城北中学校

平成三年三月、ニュートンが万有引力を発見したとされるリンゴの苗木が、城北中学校に寄贈された。写真は、その植樹の様子である。

当時の学校長磯谷栄一氏は、子供たちに自然科学の心を育てたいと願い、創立三十周年の記念事業の一環として、東京大学理学部付属植物園（小石川植物園）より譲り受けた。やがて木は大きく育ち、創立五十年目の春、白い花を咲かせた。それを見た一人の理科教師が綿棒で人工授粉を行うと、ついにニュートンのリンゴの木は小さな実をつけた。さらに子供たちにリンゴの実が落下する瞬間を見せ、ニュートンと同じ感動を味わわせるためにビデオを回し続けた。待つこと一週間、ついに一つの実が落下した。その後収穫されたリンゴは小さく分けられ、全校生徒で味わった。多くの人の願いが込められた一本のリンゴの木を通して、子供たちの自然科学の心は育まれた。

平成二十二年、ニュートンのリンゴは、市内全中学校に植樹された。毎年、花を咲かせ、実をつけるリンゴの木は、校庭の片隅から、子供たちの成長を、今も見守り続けている。



・カ
ツ
ト
南
中
嶋
田
佑
子



＊なぜあの学校は危機対応を間違えたのか
石川 慶子 教育開発研究所 ￥2,000

心に残った一文
危機発生の初動はSPPの三原則です

著者は、子供の自殺・食物アレルギー事故等、学校現場の重大危機を、様々な立場で幾度も経験したことをもとに、クライシス・コミュニケーション(危機発生後の対応)の重要性を説く。そのポイントは、Stakeholder(利害関係者等の優先順位) Policy(方針) Position paper(説明文書)のSPPであると言う。

謝罪会見でも、政治家や経営者が、きっぱりと真摯に対応している姿で、ことが収束していく例は多い。しかし、自己防衛に走り、被害者の心情を慮っていない発言等は見苦しく、炎上につながるという。

いざという事態に備え、学校事故の初期対応の失敗に、学ぶことは多い。

- ＊スマホ脳 アンデシュ・ハンセン 新潮新書 ￥1,078
- ＊ほめ方 叱り方 島村 華子 ディスカヴァー・トゥエンティワン ￥1,650
- ＊漁港の肉子ちゃん 西 加奈子 幻冬舎文庫 ￥660
- 美合小 大西 裕子

東海地震はいつ発生してもおかしくないと恐れられている。過去の災害の映像を見るたびに、自然の恐ろしさ、平穏であることのありがたさを感じる。

防災の日。多くの学校で避難訓練が行われる。子供たちが、命の大切さについて考え、自分の命を守る意識をさらに高める機会としたい。

ホ ッ と 長 目



▲防災の日に非常食を体験

次々に難題にぶつかる。それでも岡崎の教師や子供たちは、そんな時こそ力を発揮する。令和二年度の修学旅行は、新しい「かたち」を示した。

今、できることは何かを懸命に考える。一人ではできないことも仲間と協力しながら乗り越える。そこで得心を震わす出会いや体験は、子供たちの生きる力を育むことにつながっていく。